

農業チャレンジサポート事業の5つの柱

サポート1 『土作りを支援』 生産基盤確保

土壤診断の費用を全額サポート

適正な施肥量を把握するため、土壤診断を行い施肥計画の改善を図る生産者に対し、その費用を支援します。適正な施肥による収量増大、過剰施肥を抑えてコスト低減を目指します。

- 支援対象者：生産部会等の加入者等
- 支援内容：土壤診断費用
(JAあいち経済連土壤診断センター)
- 助成額：1人5点まで、全額助成

サポート3 『機械・設備の導入を支援』 初期投資

農業用機械、農業用ハウスの導入をサポート

生産規模の拡大・省力化・高品質化等の生産目的のための機械・設備の購入を支援します。

- 支援対象者：生産部会等の加入者等
- 支援内容：①農業用機械導入
②農業用ハウス資材導入
- 支援要件：
 - ・機械・設備を新たに導入し生産規模の拡大・高品質化・省力化に取り組む生産者
 - ・購入金額10万円(税込)以上の機械・設備
- 助成率：①農業用機械購入価格(税込)の10%
②農業用ハウス・資材価格(税込)の30%
- 助成限度額：①農業用機械50万円
②農業用ハウス・資材100万円

サポート5 『農業融資に関する支援』 経営安定



農業者の「施設資金」「運転資金」「設備資金」のニーズに応えるため、融資商品をご案内します。

各種サポート事業に関する助成には、対象者および助成要件、助成率、助成限度、助成枠が設定されています。「事業を利用したい」「詳しく内容を知りたい」という方は、各営農センター、営農アドバイザーにお気軽にお尋ねください。

サポート2 『農業生産を支援』 初期投資

苗・苗木の費用をサポート

改植による園地再生や有利販売に向けての有望品種導入にかかる果樹苗木と、生産規模拡大のための野菜苗等の購入を支援します。

- 支援対象者：生産部会等の加入者等
- 支援内容：
 - 【果樹】改植、新規作付、有望品種のための苗木代
 - 【野菜・花き】生産規模拡大のための苗木代
- 支援要件：5a以上の改植・面積拡大する生産者
- 助成率：購入価格(税込)の50%以内
(改植・拡大分)
- 助成限度額：1品目10万円

サポート4 『災害復旧を支援』 経営安定

自然災害による被害の早期復旧をサポート

台風や大雨等の自然災害に対し、復旧にかかる種苗代や施設資材の購入費用を支援します。

- 支援対象者：生産部会等の加入者等
- 支援内容：まき直し、植え直しする種苗代
施設復旧に関する資材代
- 支援要件：営農センターで災害復旧用に取りまとめをした種苗・資材
- 助成率：購入価格(税込)の50%
- 助成限度額：種苗・資材 各20万円

『地域営農振興支援』

生産振興に向け新たな事業活動を実践する生産部会等を支援します。

- 主な支援内容
 - 【新技術実証】新技術の実証や技術の普及に向けた事業
 - 【販売力・ブランド化対策】販売力強化やブランド化に向けた事業
 - 【担い手育成】今後、産地をけん引する担い手を育成するための事業

『決済サイトの延長』

農産購買事業で取り扱う肥料・農薬・資材および営農用重油に対して現状の3カ月・6カ月に加えて希望者に対し、最長9カ月の決済サイトを設定します。



JAあいち知多の営農支援対策

農家をサポート

チャレンジする



5つの柱で 営農を支援

JAあいち知多では平成30年4月から、農業経営の安定に向けて生産規模の拡大、高品質化、省力化に積極的にチャレンジする意欲ある農家を全面的にサポートするため総額1億5000万円の「農業チャレンジサポート事業」をスタートしました。

JAあいち知多ではこれまでも、担い手農家と一体となって知多半島の農業を未来につなげる事業として、規模拡大を目指す担い手農家への営農支援対策として「農機具購入応援事業」に取り組み、JAグループ愛知としても「新規就農支援事業」を展開して担い手の自立を支援してきました。

一方、昨年度実施した地域の中核的担い手農家への訪問・面談では「JAの営農支援を期待する」という意見を多くいただきました。

こうした意見を参考に誕生したのが「農業チャレンジサポート事業」です。農業振興のためにJAが積み立ててきた「地域農業振興積立金」の活用を予定しています。これまでの規模拡大を目指す担い手農家に加えて、産直出荷など多彩な品目作りに取り組む農家の方にも広く活用していただける内容を目指しています。

農業チャレンジサポート事業は「生産基盤確保」「初期投資」「経営安定」を指して①土作り支援、②生産支援、③機械・設備導入支援、④災害復旧支援、⑤産地振興と資金支援の5つの柱で構成されています。次ページでこの事業の概要を紹介します。